

# 二酸化炭素(CO2)排出量計算表(その1)

別添

社名： ( )

担当者名：

電話番号：

登録番号	
導入車両車名	
導入車両型式	

## (HV(ハイブリッド自動車)) ※プラグインハイブリッド自動車を除く

\* 社名の( )はリース貸渡し先を記載

	導入車両のH29年度の使用状況	導入車両のH30年度の使用状況	備考
使用開始日			新規登録日付もしくはそれ以降に運送事業での利用を開始した日(いずれか遅い方)の日付を記入してください。
導入車両の各年度の走行距離(km)①	km	km	29年度は補助対象車両の登録日から30年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください。 30年度は30年4月1日から平成31年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください
導入車両の各年度の燃料使用量(リットル)②	リットル	リットル	29年度は補助対象車両の登録日から30年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください。 30年度は30年4月1日から平成31年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください
導入車両の年間平均燃費③	#DIV/0! km/リットル	#DIV/0! km/リットル	①÷②により導入車両の平均燃費が計算され表示されます。
標準車両の燃費④	3.40 km/リットル	3.40 km/リットル	導入車両の型式に相当する標準車両の燃費を「事前登録された補助対象車両等の情報」より選び、別表(JATA示す換算値)より選んで、その右欄の値(JATA換算値)を記入してください。なお、導入車両と同格(注4)の最新ディーゼル車をご使用の場合は、その平均実燃費値を記入して下さい。
標準車両におけるCO2排出係数⑤	2.58 kg-CO2/リットル	2.58 kg-CO2/リットル	排出係数とは、燃料1リットルから何kgのCO2が排出されるかを示す係数です。 標準車両の使用する燃料がガソリンであれば2.32、軽油であれば2.58を記入してください。
導入車両におけるCO2排出係数⑥	2.58 kg-CO2/リットル	2.58 kg-CO2/リットル	排出係数とは、燃料1リットルから何kgのCO2が排出されるかを示す係数です。 標準車両の使用する燃料がガソリンであれば2.32、軽油であれば2.58を記入してください。
標準車両の年間CO2排出量⑦	0.00 tCO2	0.00 tCO2	①÷④×⑤÷1,000
導入車両の年間CO2排出量⑧	#DIV/0! tCO2	#DIV/0! tCO2	①÷③×⑥÷1,000
CO2削減量	#DIV/0! tCO2	#DIV/0! tCO2	標準車両の年間CO2排出量⑦から導入車両の年間CO2排出量⑧を引くことで、年間(年度途中で導入の場合は、そこから年度末までの間)のCO2削減量を計算することができます。

注1. 上記様式は、当該年度末及びその後の1年間について必ず作成し、そのコピーを交付規程様式第15事業報告書と共に提出してください。

PHVについて日常的に充電を行って使用していた場合は、EV用の計算表で計算した削減量と本表の削減量の平均値を事業報告書に記載してください。

注2. 燃費改善効果及び二酸化炭素削減効果を把握することが、当該補助金の目的であり、事業報告書を提出しない場合は、補助金の返還もあり得ます。

注3. 補助対象車両が複数の場合は、本表を台数分提出してください。

注4. 導入車両と同規模かつ同仕様の車両をいう。(例: 導入車両が2tHV塵芥車の場合2トンディーゼル塵芥車、導入車両が3tHVボトルカーの場合は3トンディーゼルボトルカー)